

くらしを支える税

第3号

平成22年4月30日
北見税務署

5月3日(月)は「ごみの日」、そして5月30日(日)は「ごみゼロの日」です。
「ごみの減量化そして正しい分別を！！」ということで、今回は「ごみ」と「税」についてです。

税のネタ帳 ～ごみはどうなっているの・・・？と税～

私たちの生活の中で毎日どのくらいの「ごみ」が出ているか知っていますか？
北見市では、平成20年度1年間に家庭ごみ 32,228t、事業系ごみ 13,411t、
合計 **45,639t** のごみを処理しています。この量は北見市民1人1日あたり約 **1kg**
(989g)になるそうです。

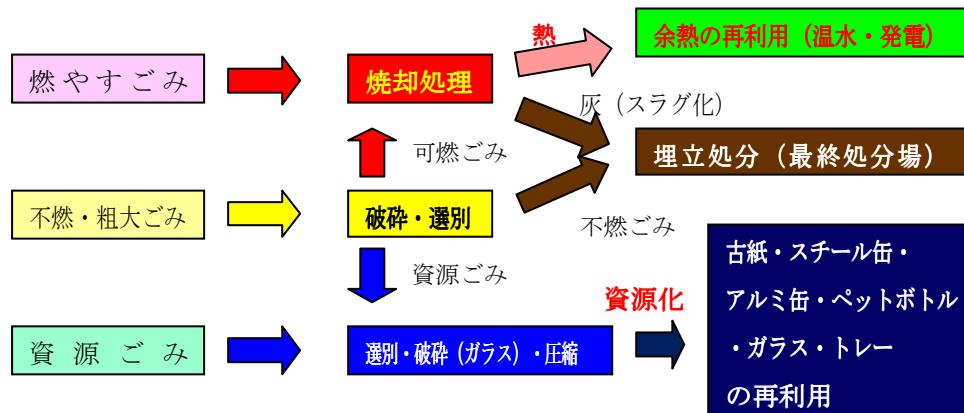
それでは、毎日出される多くのごみはどのように処理されているのでしょうか？
また、ごみ処理にかかる費用は誰が負担しているのでしょうか？

北見市で出されたごみは、北見市廃棄物処理場(クリーンライフセンター)や
北見市最終処分場(埋立処分場)、北見市プラスチック処理センター等のごみ処理
施設で処理されています。(クリーンライフセンターでは平成20年度に訓子府町
のごみ 394t及び置戸町のごみ 302tも処理しています。)



平成13年4月本格稼働
工事費：54億4950万円
処理能力：焼却処理：165t/24h
不燃・粗大ごみ破碎：65t/5h
資源化処理：30t/5h

クリーンなごみ焼却と減量化・資源化(クリーンライフセンター)



◎北見市のごみ処理手数料：円

燃やすごみ	燃やすごみ	150	30
	燃やさないごみ	300	60
		450	90
粗大ごみ	1枚		300

【資料提供：クリーンライフセンター】

私たちの「健康で快適な暮らし」のためにも「税金」は使われています！

北見市では、燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの処理を平成16年11月より有料化しており(旧端野町：平成15年4月、旧留辺薬町：平成16年4月、旧常呂町：平成17年4月から)、

燃やすごみや燃やさないごみは「指定のゴミ袋」を、そして粗大ごみは「粗大ごみ処理券」をスーパー等の販売店で購入することによりごみ処理手数料を払っています。しかし、北見市の平成20年度のごみ処理費用が**約22億9,000万円**(市民1人当たり**18,104円**)であったのに対して、市民が負担しているごみ処理手数料は3億4,700万円であり、処理費用の大部分(**80%以上**)は税金で賄われています。税金が私たちの「健康で快適な暮らしのため」にも使われていることがお分かりいただけると思いますが、大切なのはごみの**減量化**です！

また、皆さんが負担しているごみ処理手数料は、ごみ処理費用のほか「ごみの減量・リサイクルの促進」「環境教育・普及啓発の充実」「ごみステーションの管理をはじめとする地域における環境活動の支援」などにも使われています。

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

ごみ問題は「ごみの減量化」から！！

ごみ処理には莫大なお金(税金)が掛かっていますが、「ごみ問題」を考えると一番大切なことは「**ごみの減量化**」です。

ごみを減らすことは、お金の節約(処理費の節約)、資源の節約、そして地球環境を守ることにつながるからです。皆さんは「**3R**」を知っていますか・・・？「3R」とは「リデュース・リユース・リサイクル」です。

●リデュース(Reduce)・・・減らす

リデュースとは、いらなくなったものを「捨てる」こと自体を見直すことです。必要のないものは買わない、使い捨てのものなど「ごみ」になりそうなものは使わないなど、ものの量を「減らす」ことです。ごみの量を減らすには最も効果のある考え方です。

●リユース(Reuse)・・・もう一度使う

リユースとは、いらなくなったものを「捨てる」のではなく、洗ったり修理して「もう一度使う」ことです。最近ではリサイクルショップやフリーマーケットで中古品や古着が脚光を浴びていますし、ビールやジュースのビンも回収して再利用しています。リユースを実践することでエネルギーや環境汚染は最小限になります。

●リサイクル(Recycle)・・・作り変えてまた使う

一番なじみのある言葉ですが、いらなくなったものを「捨てる」のではなく、分類して集め「再利用する」ことです。北見市廃棄物処理場(クリーンライフセンター)でも古紙・スチール缶・アルミ缶・ペットボトル・ガラス・トレーのリサイクルを実践しています。

ごみを出すときは「正しい分別」を！！

「正しい分別」は、**ごみ処理費用の縮減、リサイクル率の向上**及び**ごみ処理作業の事故防止**のためにも、守らなければならないルールです。

みなさんご存知のとおり昨年9月にあった、クリーンライフセンターの不燃ごみ・粗大ごみの粉碎・分別再利用処理施設「リサイクルプラザ」の火災も、燃やさないごみにスプレー缶が混入していたことが原因だった可能性が高いと考えられており、また、本年3月にあったゴミ収集車の火災も、燃やさないごみに電子ライターが混入していたことが原因のようです。北見市では分別の徹底を呼びかけています。

参考までに・・・外国のごみ事情

「使い捨て社会」から抜け出せないロシア

ごみの分別収集の習慣のないロシアでは、大部分のごみは埋立処理され、近年ごみの減量化が課題になっておりリサイクルへの取組が広がりはじめたそうです。ロシアの首都モスクワは人口約1,200万人、年間約530万トンのごみが排出されており、さらに毎年3%のペースで排出量が増え400箇所あまりある埋立処分場は2016年には満杯になることが見込まれ、モスクワ市は埋立処理一辺倒から焼却とリサイクルの割合を増やすよう変更したそうです。

しかし、分別収集の習慣がないため、ごみの分別は国営清掃工場での手作業で、アルミ缶やペットボトル、ダンボールなど資源として再利用される量は年間約30万トンにすぎないそうです。

やはり**ごみの分別は大切**です！！

また、エネルギーや鉱物資源の豊かなロシアでは、分別や洗浄などの手間と費用がかかる再利用は新品を作るより割高であり、「使い捨て社会」から抜け出せない原因の一つにはリサイクルの採算性があるようです。

租税教室Q&A ~ 集められた税金はどこで保管・・・？

Q 集められた税金は、どこのどのような金庫に保管されるの？

A 国税は、「国税収納金整理資金」として、日本銀行に保管されます。国税は、全国の税務署、銀行、郵便局等で納められますが、現金そのものが日本銀行に移動することではなく、一般の銀行と日本銀行との帳簿上の移動で行われます。したがって、何兆円もの現金を保管する金庫は、日本銀行にはありません。

『税に関する資料がほしい』、『くらしを支える税』でこんな話を取り上げてほしい』など、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

北見税務署 税務広報広聴官 栗田 浩
北見市青葉町3番1号 TEL 0157-23-9160【直通】